

日本YMCA同盟

THE
YMCA

The Young Men's Christian Association News



No.859 2026

2026年9月1日発行（毎月1日発行）
1947年10月27日 第三種郵便物認可
本体価格45円（外税）（送料63円）
発行／公益財団法人 日本YMCA同盟
〒160-0003 東京都新宿区四谷本塩町2番11号
Tel 03-5367-6640 Fax 03-5367-6641
URL : <https://www.ymcajapan.org/>
発行人／太田 直宏 編集人／横山 由利亜



OPINION

YMCAのキリスト教的アイデンティティーの現状

——第15回日本YMCA同盟協議会 基調講演より——

アジア・太平洋YMCA同盟 事業部責任主事 スニータ・スナ

YMCAはキリスト教の精神に基づいて設立された団体ですが、ご存じのように多くのアジア・太平洋諸国においてキリスト教は少数派です。フィリピンや韓国など一部を除き、タイ、ベトナム、ミャンマー、バングラデシュ、そして日本も、私の出身国であるインドも、キリスト教徒は人口のわずかなパーセントです。

これらの国々でYMCAは、社会の少数派として謙虚に、他の信仰や思想をもつ人々と対話を重ねて活動しています。キリスト教の教義を押しつけることはしません。しかし「すべての人が、神から与えられた尊い命と無限の成長の可能性をもっている」というキリスト教の人間観を土台に、あらゆる人に対して「精神・知性・身体 (Spirit, Mind, Body)」の全人的な成長を願って活動しています。国籍や民族、宗教、性別など一切の違いを乗り越えて、困難をかかえる人々の声を聴き、地域の課題に応える。イエス・キリストが示した「愛と奉仕の精神」を行動で表すことで、社会に必要とされる存在であり続けていく。これが、少数派であっても社会に影響をもってきたYMCAの、人に仕えることによるリーダーシップの源泉です。聖書でいう「地の塩」「世の光」の働きであり、YMCAの中核となるキリスト教アイデンティティーです。

これは、キリスト教人口の多い国でも同じです。世界のYMCAには現在6500万人が関わっていますから当然、クリスチャンではない会員も大勢います。思想信条の壁を越え、誰に対してもオープンなのがYMCAです。

19世紀に作られたYMCAの正章には、「JOHN 17:21（ヨハネによる福音書17章21節）」が刻まれています。これは「すべての人が一つとなるように」という聖句です。この言葉は、全員が同じ考えをもつという「画一性」を求めるものではありません。違いを消し去るのではなく、違いを尊重し、互いを受け入れることによる一致をめざすものです。誰もが多様なままで尊重される。そんなコミュニティの構築を、YMCAは使命としてきました。



多様なままで一致は簡単ではありませんが、このYMCAのアイデンティティーは、現在の世界が直面している分断や対立、孤立や不平等に対して一つの希望を示していると私は考えています。そしてまた日本のYMCAのブランドスローガン「みづかる。つながる。よくなっていく。」は、この希望へ向かう具体的なプロセスをよく表していると思います。

実際にイエス・キリストは、病気の人や社会から疎外された人々に会い、彼らに奉仕し、癒すことによって、希望へと導かれました。さまざまな課題をかかえた人々と心を開いて出会い（＝みづかる）、思いやりをもってつながる。そして、出会いとつながりが、変革（＝よくなっていく）という果実をもたらしていく。これこそが永年にわたり私たちがめざしてきたYMCAのリーダーシップのあり方であり、分断された社会における架け橋となる働きです。日本のYMCAのいう「ポジティブネット」——互いの存在や個性を認め合い、高め合うことのできる、善意や前向きな気持ちによってつながるネットワーク——は、これを的確に表す言葉として、今の社会に重要です。

今、「世界YMCA Vision2030」のもとでアジア諸国のYMCAも、気候正義や人権擁護、若者の雇用、地域福祉などの課題に取り組んでいます。いずれの課題も深刻ですが、私たちはYMCAのアイデンティティーを大切に、この長く険しい道のりを、共に手を携えて歩んでいきましょう。

「早く行きたいなら一人で行きなさい。遠くまで行きたいなら、皆で進みなさい」（アフリカのことわざより）

スニータさんの
講演全文はこちら



日本YMCA同盟協議会
の報告はこちら



Amazonと連携 シニアのリスキリング デジタルな公平性をすべての人に



日本YMCA同盟はアマゾンジャパンと協働し、「すべての人がデジタルを活用して豊かな生活を送る (Digital Equity for All)」ことを掲げ、2019年より児童養護施設でSTEAM教育を展開してきました。今年度は新しい試みとして対象を中高年層に拡大し、デジタルスキル向上の機会を2000名を目標に提供しています。

横浜YMCAでは、AI活用の4回コースを開催し、日常生活にAIを取り入れることで運動習慣づくりなどの健康管理、趣味の作品や家族との思い出を画像やイラストにし、さらにYMCAやコミュニティでのボランティア活動の企画運営に用いることができるようになりました。他にも「特別企画：スマホの“困った!”を、その場で解決」と題して、各種コミュニケーションアプリの有効活用、不安なセキュリティ対応など、個別相談会も開催しています。

姫路YMCAでは、保育園や小学校で教員、教育関係者を対象に開催。業務過多な教育現場において、AIを取り入れることで効率化を図り、教員がより子どもと向き合う時間を増やすため「どう使うか」、ワークショップ形式でともに考えています。研修後には業務効率化だけでなく、「AIとの対話を通じて、授業イメージが深まり、指導案の作成がスムーズになった」といった感想も寄せられました。

能登半島地震の被災地、石川県珠洲市ではスマートフォンを使って、離れて暮らす家族との連絡、倒壊した家屋の取り壊しや再建にかかる費用の申請手続き、病院の予約や服薬の管理など、ライフラインにかかわる学びが行われ、自治体からも高い評価を得ています。

最新のテクノロジーとYMCAの一人一人の課題解決に伴走する力が組み合わさることで、シニアの生活に新しい世界が広がり始めています。

日本YMCA同盟 横山 由利亜

新企画

参加者募集 みんなの一步で 子どもの笑顔を 全国YMCAオンライン・チャリティーウォーク

スマホアプリを使って歩く、オンラインウォーク大会を全国YMCAで一斉に開催します。ルールは簡単。スマホを持って歩くだけ。アプリには、日々の歩数ランキングや各チームの歩数が表示されますので、

「今日は〇〇YMCAのチームが1位だね」

「ご高齢の方も頑張ってるね」

「歩く習慣がついてきた!？」

日々のウォーキングを皆で楽しみながら、参加費で障がいのある子どもたちを支援します。全国どこでも、どなたでもご参加いただけます。

▼開催期間 2026年11月29日(日)～12月13日(日) 15日間

▼申し込み 2026年10月15日(木)～11月29日(日)

※企業チームなど、独自でチームを作って参加ご希望の方は、申し込みの前、9月10日～10月10日までにチームエントリーが必要です。(1チーム3人～)

▼参加費 2,000円/人 ※益金は、障がいのある子どもたちの活動に用いられます

▼参加対象 スマホをお持ちの方。1人でもグループでもOK。歩数が少ない方も歓迎です。

▼問い合わせ 日本YMCA同盟

詳しくはホームページで▶



感謝

／おかげさまで40年／



このイベントは「YMCAインターナショナル・チャリティーラン」が1987年に東京でスタートして今年40周年を迎えることを記念して企画された、初の全国イベントです。コロナ以降、東京・横浜YMCAが実施してきたオンライン・ウォークですが「走るのは苦手だけど歩くなら」「遠方からも参加できる」と好評なことから、全国で実施となりました。



熊本地震 救援・復興支援募金

ご協力のお願い

熊本地震で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。酷暑の中での断水や停電、続く余震。大きな不安と悲しみのうちにある方々に、一日も早く平安が訪れますよう切にお祈り申し上げます。

熊本市を中心に県内14拠点をもち熊本YMCAは、人的被害はなかったものの、一部の施設でひび割れや機器類の損壊が発生。プールなど夏のプログラムは中止を余儀なくされました。指定管理者として運営している益城町と大牟田市のスポーツ施設には8月7日現在、数十人が避難しています。



八代市内の児童養護施設「八代ナザレ園」には、物資を届けたほか、子どもたちを阿蘇キャンプに招待

報道されておりますように、今回の地震では八代市など県南部の被害が大きく、今も数千人が避難生活を余儀なくされています。そのためYMCAは全国からスタッフ派遣を行うなどし、中長期的に復興

支援にあたる予定です。

皆様のご支援ご協力を、心よりお願い申し上げます。

●現地の近況は、随時ホームページでお知らせします。

<https://www.ymcajapan.org/society/relief/kumamoto2026/>



募金方法

お近くのYMCAにお問い合わせいただくか、以下にお振込みください。

※日本YMCA同盟への募金は、税制上の優遇措置の対象となります。

●ゆうちょ銀行：00130-4-696497
「日本YMCA同盟災害支援募金口」
※「熊本地震」とご記載ください。

●クレジットカードによる送金は下記サイトから

<https://srv.asp-bridge.net/ymca/privacy/7>

